

『一生懸命』幻の新座市議会報告第162弾!



たかむらともや

2018年7月31日発行

③ 財政がピンチ!?

6月議会の最終日、全員協議会で「市の今後の財政見通し」についての報告がありました。そこにはこういう記述がありました。

”平成28年度の経常収支比率は95.2%、臨時財政対策債を除くと101.3%と、国の政策如何によっては毎年経常的に行う事業を毎年経常的に入ってくる収入では賄いきれなくなる危険性が十分ある状態であり、もはや財政運営上、自立した地方公共団体とは言い難い状況となっています。また、冒頭述べましたとおり、臨時財政対策債を加えても、平成26年度から3か年平均で95%以上という状況であることから昨年度は県内市町村で唯一、埼玉県による財政事情ヒアリングの対象となったところです。”

この記述の中の”もはや財政運営上、自立した地方公共団体とは言い難い状況となっています。”という部分にショックを受けました。

ここ10年以上、議会ですっと指摘してきたことが、現実になってしまったのです。『経常収支比率がこれだけ高いのに、大型事業をいくつも同時に進行することは危険ではないのか。』『借地が30万平米もある。それを買い取るだけで200億もかかる。』『保谷・朝霞線をつくれれば、県道が市道に払い下げられ、その維持費は半永久的に市が負担することになる。』

決算の度にそういう指摘をしてきたのですが、その時は耳をかさず、新庁舎・北口区画整理・大和田二・三丁目区画整理と同時に進行したのです。そして、県のヒアリングを唯一受け、やっとその危険性に気がついたということでしょうか。財政に余裕がないから、財政調整基金や地下鉄建設基金を取り崩し、更に借金をしてきたのです。そのツケは教育予算の削減や福祉予算の削減に繋がりました。

待機児童問題は解決せず、学童保育の大規模化狭隘化にも予算が回せない。学校の先生達からは駐車料金を徴収しているのに、市長・議長・教育長車の公用車には平気で税金を投入する。そして、いい加減な補助金の出し方。その姿勢が疑問なのです。市政(姿勢)を正すいい機会かも知れません。



8月5日(日)に”第20回わいわい川遊び”があります。石神集会所で「子ども食堂」もやります。無料ですが、申し込みが必要です。



たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。
新宿区立西戸山小中学校卒。
超有名な悪ガキだった。

偏差値も40しかなく、西戸山中学校1年生の時には「バスケット部」「バレー部」「テニス部」と3つの部活を渡り歩くなど、いい加減な中学生の見本のような生徒だった。そんなバカチンが中学2年生の時に出会った河合先生の影響で勉強も始め、しまいには中学校の教師になってしまったのだからふざけている。

五中、六中、二中時代は理科・数学・国語・体育・英語などの教科を担当する。

今は石神3丁目の「たかやん塾」で小中高生の子ども達と一緒に学ぶのが生きがいである。

写真は五中4期生のあっこ。あっこは2年1組の最初の学級委員だった。(背が一番小さくて)

駅立ちを初めて12年に。ひばりが丘、東久留米、保谷、新座、志木、清瀬・・・の順に立っている。

議会では「町内会補助金問題」を取り上げ続け、広報の全戸配布を引き出した。「PTA任意団体問題」では「日本教育新聞」に掲載されるなど、議会での発言が全国的に注目されている。



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🗣️ 傍聴180人

6月議会で大問題になったのが「放課後児童保育室の指定管理者公募問題」です。6月10日の日曜議会の傍聴は何と180人。降ってわいたような話にお母さん達が立ち上がりました。市にも現在の指定管理者である社協にも要望を出し、志木駅南口ではお母さん達自ら、マイクを持って、市民に署名を訴えたのです。「私達保護者は今の学童に子ども達を預けることにとても安心していています」「安心していているから一生懸命働けるのです」「子ども達は学童が変わってしまったら、行きたくないと言っています。」「そんな子ども達の声聞きたくありません」お母さんの訴えを聞いていて、涙が出てきました。



🗣️ 第20回わいわい川遊び

8月5日(日)今年も川遊びがあります。一昨年から「子ども食堂」もはじめました。勿論、無料ですが先着100名で申し込みが必要です。食堂でお手伝いできる方も募集しています。多くの方の参加をお待ちしています。

○8月5日(日) 10時～15時半

○川掃除、魚とり、子ども食堂、川遊び、スイカ割り

○受付開始 9時半 090-6497-5737



🗣️ 働き方改革法案

「働き方改革法案」が先月29日成立しました。日本は過去70年間続けてきた、「政府の規制で労働者を過重な労働から守る」という労働者保護政策を捨てたのです。

政府は、高プロについて、「労働者が柔軟な働き方が可能になる」と説明していますが、現実には経営者が労働基準法という規制から解放されるだけのことです。解放されるのは経営者であり、労働者ではありません。「年収1075万円以上の専門職」が対象ですが、過去の「労働者派遣法」を見れば分かるように、対象範囲は次第に拡大していくでしょう。「高プロ」が適用された場合、年間104日の休日取得は義務付けられますが、残業代や深夜手当、休日手当は一切支払われなくなります。理論上は、48日間休みなく働き続けることも可能になり、「過労死」が増加しても合法ということになります。若い人達、そして子ども達の未来が心配です。

安倍首相は「カジノ法案」にも本気ようですが、彼はアメリカでトランプ大統領と会う直前にカジノで大儲けしようとするカジノ運営会社、ラスベガス・サンズの会長と会っています。

そして、会長が要求した通りの「面積緩和」や「掛け金融」を飲んだのです。トランプ大統領はカジノ業界から支援を受けています。トランプ大統領が安倍首相に圧力をかけたのか、安倍首相がその関係を忖度して、媚を売ったのかは分かりませんが、大損をした日本人の金がアメリカのカジノ産業に流れていくことは確かです。

「働き方改革法案」といい「IR整備法案」といい、一体誰の為に「法案」なのか、考えれば直ぐに分かります。働く多くの国民や未来を担う子ども達の為に法案でないことだけは確かです。

「種苗法廃止」「農協改革」「TPP」もグローバル企業からの要求です。そんなことをしている間に、北海道や沖縄を中心に国土の2%もの土地が中国人の所有になっています。(静岡県の面積)外国人に日本の土地を所有させない規制がないからです。保守を名乗るだけで、自分の脳みそで考えない人達はもう御免です。防衛の要所や貴重な水源まで中国人に買い占められる一方、TPPや種苗法廃止で食の安全保障が危ういのですから。🗣️

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m